

令和2年度 高等学校OPENプロジェクト実施計画書（3年次）

1 研究の概要

1 現状と課題（地域と高校生の相互理解・協力）

- ・生徒の地域の産業や歴史、文化等についての理解不足から、高校生の興味・関心が地元に向いていない。
- ・白老町には公立高等学校が1校しかなく、高校生が白老町の産業や歴史、文化等に関する理解を深め、地元で就職し生活するとともに、地域の伝統や文化を支え発信する人材として活躍することを期待している。
- ・平成20年にはアイヌ民族を先住民族とすることが可決されており、2020年には国立の民族共生象徴空間が開設される中で、地域と連携した取組を行い、郷土への愛着や伝統文化への畏敬の念を育み、地域を支える人材育成を図るとともに、先住民族の歴史について生徒が主体的・協働的に学んで伝統や文化の価値を感受し、地域の伝統文化の魅力等について町内外に情報発信を広く行うことが求められている。
- ・地域の伝統文化や白老町の歴史など、地域の実態に即した教育課程の編成及び指導方法等の工夫・改善を行い、各教科・科目において教科等横断的にアイヌ文化や地域の産業について学ぶよう学習内容を体系化するために実践および研究が必要である。

2 研究の目的

- ・アイヌ文化や地域の魅力を発信する取組を通して、アイヌ文化継承の大切さを理解するとともに、地域づくりに主体的に取り組む人材を育てる。また、情報発信による地域貢献を通し、生徒の自己肯定感や職業観を育む。

3 目標の設定

- ・先住民族の歴史や文化、地域への理解を深める学習を通し、地域の伝統文化や魅力を発信できるようになる。
- ・アイヌ文化や地域に関するアンケート調査において、学習前と後とで明らかな変容が確認できるようにする。

4 具体的な取組

- ・学校設定科目「地域学」において、3年生の選択者がアイヌ文化および地域に関する理解を深める学習を行う。
- ・学習内容を深化させるため、地域での調査や、学習内容の発信を行う。
- ・年度始と年度末にアンケートを実施し、その変化を把握し次年度以降に生かす。

(別紙様式)

2 研究主題

白老で学ぶ伝統文化～「地域学」等の取組について

3 研究の内容等

(1) 解決に取り組む地域の課題

(現状)

地域の産業や歴史、伝統文化等についての理解不足から、地域に対する肯定感が低く、貢献しようとする姿勢もあまり見られない。

(課題、高校に対するニーズ等)

高校生が白老町の産業や歴史、伝統文化等に関する理解を深め、地元で就職し生活するとともに、地域産業を担い、地域の伝統や文化を支え発信する人材として活躍することを期待している。

(2) 研究目的と目標

(研究目的)

地域と連携した取組を行うことにより、郷土への愛着や伝統文化への畏敬の念を育み、地域を支える人材育成を図る。

(研究目標)

- ・先住民族の歴史について、生徒が主体的・協働的に学び、生活様式・調理体験・音楽体験など、郷土に根付く伝統や文化の価値を感受するとともに、地域の伝統文化の魅力を発信する。
- ・アンケート調査における質問項目「アイヌ民族に関する学習は必要だと思いますか」、「地域に関する学習は必要だと思いますか」の回答で、「とても必要である」と回答する生徒の割合 100%を目指す。

(3) 研究内容

(内容)

- ・生徒の実態を踏まえた情報発信の在り方、方法を探究する
- ・1学年の総合的な探究の時間における取組内容の工夫・改善
- ・アンケート調査による生徒の変容の把握
- ・関係機関との協議による成果や課題の検証

(方法)

- ・地域の人材を活用
- ・年度始、年度末のアンケート調査の実施
- ・関係機関との定期的な打合せの実施

(教育課程上の位置付け)

- ・1学年の総合的な探究の時間
- ・3学年の選択科目(学校設定科目)「地域学」

(別紙様式)

(4) 実践研究の規模

- | |
|---------------------------------------|
| ・ 1 学年の全生徒及び 3 学年の「地域学」を選択した生徒 (28 名) |
|---------------------------------------|

(5) 研究成果の普及方法

- | |
|---|
| ・ 学校ホームページによる研究成果発表
・ 町内での催しにおける学習成果発表
・ 3 学年生徒による校内での学習成果発表会 |
|---|

(6) 3 年間の研究計画

研究年度	研究内容
平成30年度 (1 年次)	・ 白老町のアイヌ民族の歴史について、生徒が主体的・協働的に学び、生活様式・調理体験・音楽体験など、郷土に根付く伝統や文化の価値を感受するとともに、地域の伝統文化の魅力を発信する。 ・ 白老町の歴史や文化、産業について、生徒が主体的・協働的に学び、郷土を愛する態度を育むとともに、言語活動を通して地域の伝統文化等を発信する。
平成31年度 (2 年次)	・ 1 年次を継続 ・ 10 月の中間発表会において、「イランカラプテ音楽祭 in 白老」などの地域イベントでの高校生の関わりや授業における地域人材との連携などについて発表する。
令和 2 年度 (3 年次)	・ 2 年次を継続 ・ アイヌ文化や地域について学んだことを基盤に、その魅力を発信する。 ・ 外部講師、地域の人材、小・中学校との連携を図るとともに、こうした連携を円滑に行うための校内体制を確立する。 ・ 成果発表会において、生徒が主体的・協働的に学んだ郷土の文化や歴史、産業及び言語活動について発表する。

(7) 令和2度の実践計画

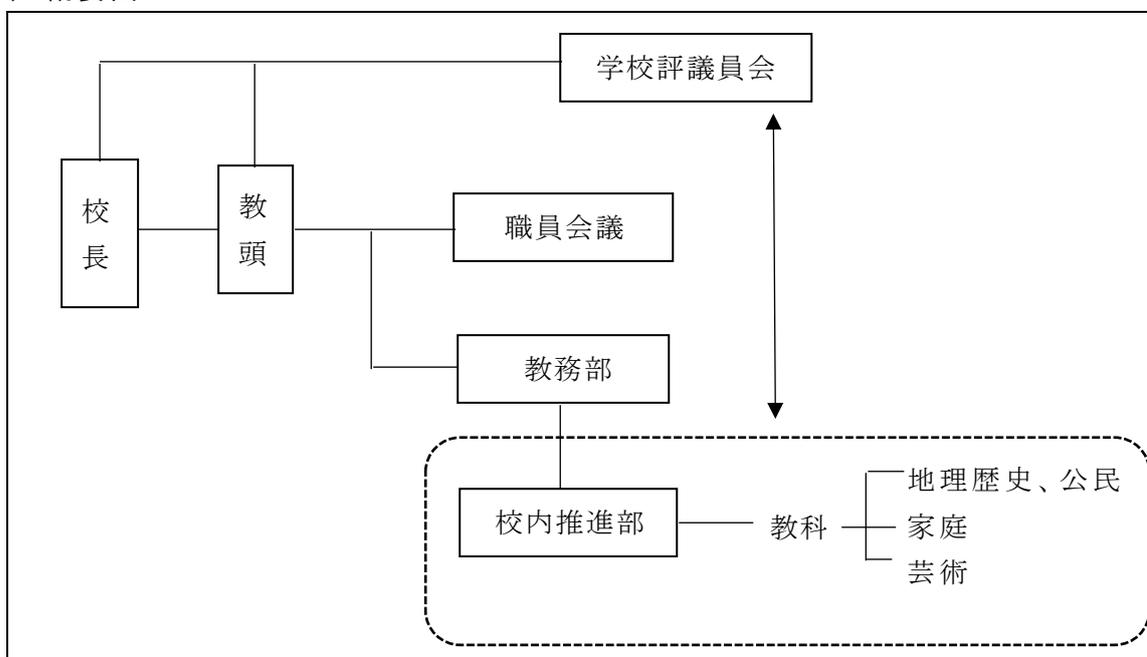
実施月	実践内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年選択科目「地域学」(6時間) ・ オリエンテーション(1時間) ・ アイヌ民族の歴史(5時間)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年選択科目「地域学」(7時間) ・ アイヌ民族の歴史(3時間) ・ アイヌ文化について(2時間) 《連携：白老アイヌ協会職員が講話・説明》 ・ 実践：木彫体験(2時間) 《連携：一般社団法人白老モシリ職員が指導》
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年選択科目「地域学」(8時間) ・ アイヌ民族の歴史(2時間) ・ 前期中間考査(1時間) ・ アイヌの文化について(2時間) ・ アイヌ語地名と伝承を知るフィールドワーク(2時間) 《連携：仙台藩元陣屋資料館職員がガイド・説明》 ・ 情報発信講習(1時間)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年選択科目「地域学」(5時間) ・ 情報発信講習(1時間) ・ 勾玉作り体験(2時間) 《連携：北海道埋蔵文化センター職員が指導》 ・ 映像を使った情報発信実習(2時間)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年選択科目「地域学」(4時間) ・ 町の魅力を伝えるフィールドワーク(高大連携)(3時間) 《連携：名古屋外語大学学生の交流 ※予定》 ・ 映像を使った情報発信実習(1時間)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年選択科目「地域学」(6時間) ・ 映像を使った情報発信実習(1時間) ・ 前期期末考査(1時間) ・ ウポポイの見学・体験学習(4時間) 《連携：ウポポイ職員が説明・指導》
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年「総合的な探究の時間」(6時間) ・ 白老町陣屋資料館見学・ウポポイにおけるアイヌ文化学習 《連携：仙台藩元陣屋資料館及びウポポイ職員がガイド・説明》
10月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年選択科目「地域学」(8時間) ・ ウポポイの見学・体験学習(2時間) 《連携：ウポポイ職員が説明・指導》 ・ アイヌ文化について情報発信実習(4時間) ・ 白老町の観光(課題探究)(2時間)

(別紙様式)

	《連携：白老町職員が講話》
	※成果発表会（札幌市）
11月	○3年選択科目「地域学」（7時間） ・白老町の観光（課題探究）（2時間） 《連携：白老町職員が講話》 ・白老町の魅力発信（4時間） ・後期中間考査（1時間）
12月	○3年選択科目「地域学」（5時間） ・1年間の学習のまとめ（5時間）
1月	○3年選択科目「地域学」（3時間） ・1年間の学習のまとめ発表（3時間）

4 研究組織

(1) 概要図



(2) 校内研究担当者

職名	氏名	担当教科・分掌等
教諭	○志田 健	地理歴史、公民科・教務部
教諭	工藤 弓佳	地理歴史、公民科・教務部
教諭	前川 駿	地理歴史、公民科・進路指導部

(3) 連携・協働先

連携・協働先	具体的な連携・協働内容
<ul style="list-style-type: none"> ・白老町教育委員会 ・白老町役場アイヌ総合政策課 ・一般社団法人白老モシリ ・アイヌ民族文化財団 ・白老アイヌ協会 	アイヌ文化学習や白老町の歴史や産業に係る体験学習等の講師及び講師派遣に係る連絡調整

(別紙様式)

(4) 地域みらい連携会議構成員

所属・職名	氏名	備考（専門分野等）
・ 仙台藩元陣屋資料館	武永 真	館長（白老町の歴史）
・ 白老町教育委員会	川崎 真也	主幹（社会教育）
・ 白老町役場アイヌ総合政策課	江草 佳和	主査（アイヌ施策）
・ 一般社団法人白老モシリ	森 洋輔	学芸員（アイヌ文化）

5 その他特記すべき事項

・ 2020年に国立アイヌ民族博物館が開館

6 研究のイメージ図

